

経営比較分析表（令和6年度決算）

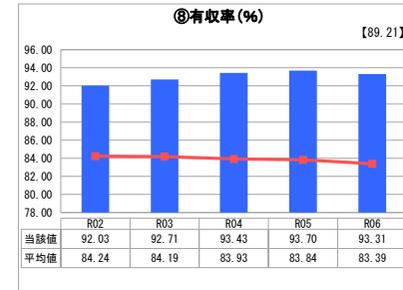
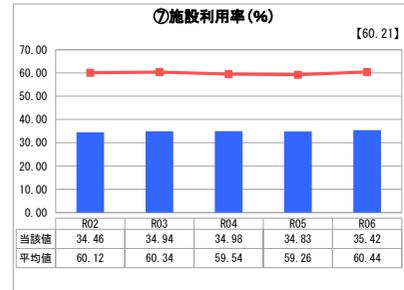
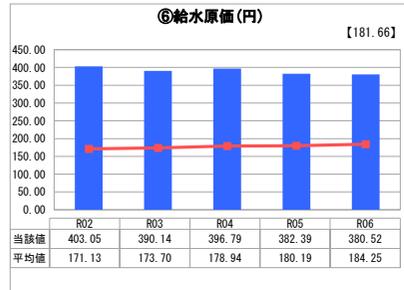
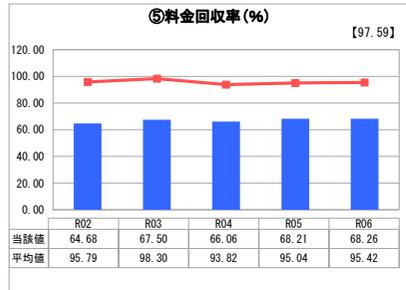
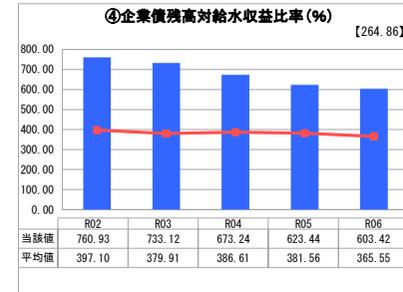
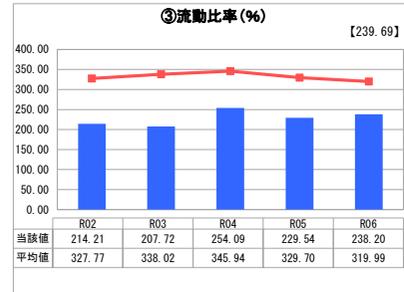
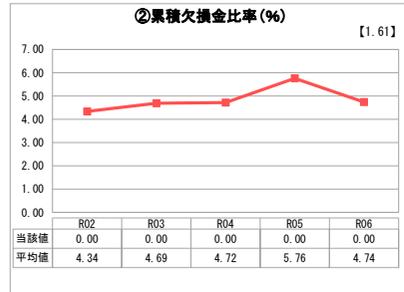
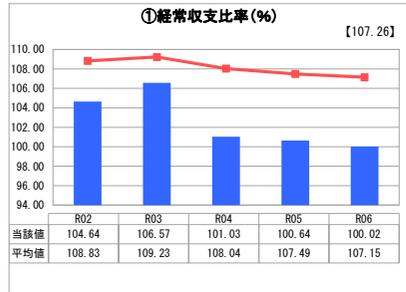
茨城県 銚田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	73.45	89.13	4,455	

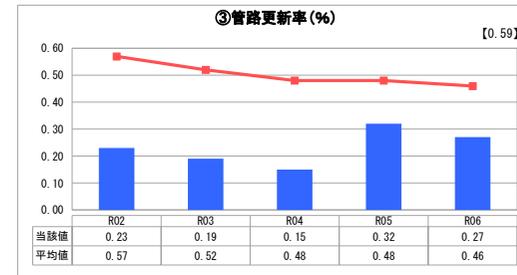
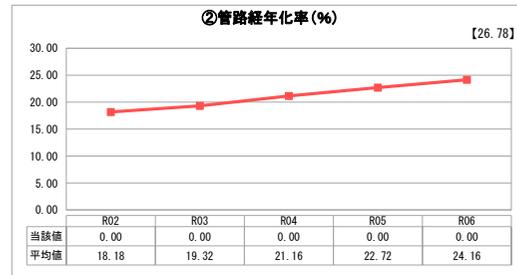
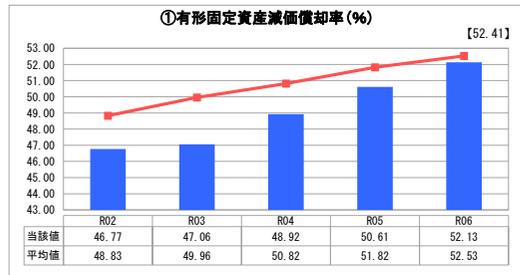
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,537	207.60	224.17
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
41,268	203.26	203.03

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損比率、⑤料金回収率、⑥給水原価
 経常収支比率は、100%以上を保っており、累積欠損比率も無い状況ではありますが、料金回収率が70%未満と低く、給水収益で経常費用を賄えないため、一般会計からの繰入金に依存している状況です。
 給水原価は、管路等の施設整備による減価償却費等の経常経費の割合が大きく、類似団体平均の倍以上となっています。
 ③流動比率、④企業債残高対給水収益比率
 支払い能力を示す流動比率は100%を上回っていますが、類似団体平均と比較すると低い状態が続いています。
 企業債残高対給水収益比率は、減少傾向にありますが、依然として類似団体平均よりも高い状況にあり、給水収益の低さが要因となっています。今後の施設更新を控え、更なる増加が見込まれます。
 ⑦施設利用率、⑧有収率
 施設利用率が類似団体を大きく下回っており、施設の配水能力に対して水需要が少ない状況が続いています。ダウンサイジング等を含めた施設の最適化を検討する必要があります。
 管路を含めた施設整備時期が類似団体よりも遅かったことから、漏水等も少なく、高い有収率を保っています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管路経年率
 施設整備時期が比較的遅かったため、水道施設の固定資産減価償却率は、類似団体・全国平均を下回っていますが、年々高くなっています。
 また、管路についても耐用年数を経過していないため、経年化率は0%となっています。
 管路を含めた水道施設は、耐用年数を経過していませんが、短期間に整備しているため、今後の施設更新時期が集中することが見込まれます。
 ③管路更新率
 類似団体平均値と比較すると低い水準にありますが、経年劣化による更新ではなく、耐震化や道路改良工事等による布設替を実施しているものです。

全体総括

本市の経営状況は、給水収益だけでは、経費を賄うことができず、一般会計からの繰入金に依存して収支を保っている状況が続いています。
 将来的に人口減少に伴う水需要の減少により、給水収益の減少が予想されています。また、近年の物価高騰による経常費用の増加に加え、管路を含めた施設の老朽化による更新時期が集中的に到来することから、更新費用の財源の確保も必要になってきています。
 今後は、水道事業の広域化を見据え、現在策定を行っているアセットマネジメントによる投資財政計画に基づき、計画的な施設更新により事業費の平準化を図るとともに、今後の経常費用及び施設更新費用を賄うために必要となる適切な料金設定を行うことで、経営基盤の強化を図り、安心安全な水の供給に努めます。